

[JPACP2026-030] 認定心理士の会 公開シンポジウム「動物とともに生きることの心理学」 (11/8)

If you are unable to see this message, click the URL below.

<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2026/09/JPACP2026-030.pdf>

公益社団法人日本心理学会 認定心理士 各位

◆-----◆
認定心理士の会 公開シンポジウム
「動物とともに生きることの心理学」

https://psych.or.jp/authorization/261108_tokai/
◆-----◆

日時：2026年11月8日（日）14:00—16:00（開場 13:50）

会場：オンライン会場

概要：

私たちは、家庭や地域社会など、さまざまな場面で動物と
かかわりながら暮らしています。

動物は、家族のような存在として心の支えになることもあれば、
「推し」の対象となったり、その一方では嫌悪の対象となったり
することもあります。

私たちは動物をどのように捉え、どのような関係を築き、その関係は
私たちの心や行動に何をもたらすのでしょうか。

本シンポジウムでは、人と動物のアタッチメントや、動物に対する態度に
関する心理学研究を紹介します。そして、身近な動物とのかかわりから、
人と動物をめぐる社会的課題までを心理学の視点から捉え直し、
動物とともに生きることについて考えます。

講演者：

藤岡 久美子（山形大学 教育学部）

「伴侶動物とのかかわり」

あなたにとって「伴侶動物」はどのような存在でしょうか。心の支え、
一緒にいると元気が出る、離れると寂しい、触ると心地よい・・・。

伴侶動物は時に、家族、何でも話せる親友、特別なパートナーなどと同等に、あ
るいはそれ以上に強い絆や心のよりどころになることがあります。

本話題提供では「人と動物のアタッチメント」を中心に、
伴侶動物が私たちに与えてくれる恩恵について研究を紹介します。

伴侶動物と過ごす中で得られるさまざまな心理学的な気づきについても、
共有していきたいと思います。

武田 美亜（青山学院大学 コミュニティ人間科学部）

「私たちは動物をどう見なし、どう扱うか」

あなたは「動物好き」ですか？ 即答できる方も迷いつつ答える方も
いらっしゃると思います。「動物」と一言にいても、ネコ、カラス、
カツオ、トンボ、ミミズ、タコなど、具体的な種を挙げていくと、
それぞれに対する好き嫌いの評価や抱くイメージは千差万別です。
同じ種に対してすら、それが飼われているものか野生のものかななどの
背景によって、1人の中でその評価が異なることがあります。

本話題提供では、人々の動物に対する態度に関する研究をご紹介します、

人と動物の関係にまつわる社会的課題への対応にどう活かせるかを考えます。

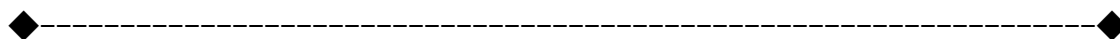
*事前申し込み制です（定員 500 名）。
*どなたでもご参加いただけます。

お申し込み方法：
日本心理学会ホームページ にてご案内をしております。下記の申し込みサイトより該当の「イベント名」と「開催日」をご確認の上、必要事項を入力してお申し込みください。

https://psych.or.jp/authorization/261108_tokai/

申し込み期限：2026 年 11 月 2 日（月）

イベントに関する問い合わせ先：
公益社団法人日本心理学会 認定心理士の会
jpa-ninnokai-event@psych.or.jp



■つるの 剛士氏 特別対談

https://psych.or.jp/special/interview_tsuruno/

■認定心理士の会 行事

（公開行事） <https://psych.or.jp/authorization/ninteinokaievent/>

（新刊連動講座） <https://psych.or.jp/authorization/ninteinokai-book/>

■メール配信バックナンバー

<https://psych.or.jp/authorization/mailservice/>

■認定心理士の会 ニュースレター

<https://psych.or.jp/authorization/ninteinokai02/>

■配信先メールアドレスの変更や配信中止，学会登録情報の変更

（連絡先，所属機関，学歴等）は，メール（ jpanintei@psych.or.jp ）でお知らせください。



公益社団法人日本心理学会

<https://psych.or.jp/contact/>

